粒子加工技術分科会 2026 年度 第 4 回 講演会
（製剤と粒子設計部会 2026 年度 第 5 回 講演会）

17 回 標準処方研究フォーラム ～マンニトール標準処方の提案～
開催案内及び参加募集

主催：（一社）粉体工学会 製剤と粒子設計部会
共催：（一社）日本粉体工業技術協会 粒子加工技術分科会

コーディネータ	山本浩充
副コーディネータ	田原耕平
代表幹事	根本源太郎
副代表幹事	伊藤有一
	中村俊郎

本年度はマンニトール処方を検討し始めて 3 年目となります。標準処方として活用されている、乳糖、コーンスターチ処方を対照として実際の造粒、打錠を行い、評価を進めてきました。今年度は、本テーマの最終年度として、直接打錠、造粒を含む間接打錠のそれぞれについて、標準となる処方についてご報告します。
いずれについても立会実験結果報告を中心として、直接打錠に関しては、処方に組込まれた添加剤の各メーカーからも解説をいただきます。間接打錠に関しては、3種の造粒法の操作条件を含め、造粒物評価、打錠特性評価に関して報告し、さらにマンニトールの特性、プロセスに関する解説も組まれています。
造粒、打錠に関する基礎から応用まで、総合的な理解を深める上で有益な情報が詰め込まれた本フォーラムに多くの皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

開催日時	2026 年 12 月 4 日(金) 10:00～	
会 場	講演会・交流会 じゅうろくプラザ岐阜 5F	
	〒500-8856 岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11 https://plaza-gifu.jp/access.html	
参 加 費	主催・共催学協会員	￥16,500
	大学・公立研究機関関係	￥11,000
	学生	￥7,700
	非会員	￥25,300
	パネル展示	￥22,000
	展示を希望される企業様は、口演担当者様の参加登録もお願い致します。	
	※ 全て交流会費含む	

※ 消費税込み（登録番号 T4130005015191）

申込方法　ホームページ（http://www.ppd-gifu.com/）の参加申込フォームからお申込み下さい

申込締切　2026 年 11 月 27 日（定員 100 名 定員になり次第締め切らせていただきます）

※ すべての参加費には消費税が含まれています（登録番号 T4130005015191）

問合せ先　粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代

e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp

TEL 080-9490-0689

パネル展示　展示費用　1 ブース￥22,000- 3 分程度の製品紹介あり

募集社数　12 社（定数になり次第締め切らせていただきます）

申込方法　参加申込と同様

申込締切　令和 8 年 11 月 20 日（金）

9:50-10:00　開会の挨拶

竹内洋文（岐阜薬科大）

10:00-10:30　【立会実験解説】

2026 年度の立ち会い実験の概要

～標準処方提案を目指したマンニトール処方の造粒、打錠実験～

山田昌樹（シミック CMO）

【立会実験報告 1】

10:30-10:50　直打用マンニトール標準処方の設計方針と実験

伏見伸介（菊水製作所）、武田泰浩（キッセイ薬品）

10:50-11:20　【関連解説 1】（各 10 分）

1） 直打処方における HPC の分子量および粒子径の影響

山内雄太 （日本曹達）

2） 直打処方に利用するグラニュトールについて

東出 壮（フロイント産業）

3） 直打処方におけるセオラスの機能と役割

藤田 創（旭化成）

11:20-12:00　【製品紹介（展示各社）】

12:00-13:10　昼食 パネル展示・討論

13:10-13:45　【プロセス解説】

混合・錠剤含量均一性評価における NIR 法およびラマン分光法の活用とプロセス解析・DX

への展開

寺下敬次郎(大阪ライフサイエンスラボ)

13:45-14:55　【立会実験報告 2】マンニトール処方の各種造粒（各 20 分）

マンニトール処方の流動層造粒実験と考察

森本泰明（フロイント産業）、河津 翔（アステラス製薬）

マンニトール処方の撹拌造粒実験と考察

吉森 誠（パウレック）、糸川昌太（アリナミン製薬）

マンニトール処方の押出造粒実験と考察

吉元貴洋（ダルトン）、山田昌樹（シミック CMO）

14:55-15:10　【関連解説 2】

D-マンニトールの特長と物性紹介

森川瑶子（三菱商事ライフサイエンス）

15:10-15:40　コーヒーブレイク

15:40-16:35　【立会実験報告 3】 マンニトール造粒品の物性と打錠特性（各 15 分）

1） 3 造粒法による造粒物の物性評価結果

杉本道彦(旭化成)

2） 3 造粒法による造粒物の打錠実験結果

星野貴史(信越化学工業)

3） 造粒物・錠剤の含量均一性の評価と考察

堀部雅史（科研製薬）、渡邊鉄太郎（杏林製薬）

16:35-17:15　【総合討論及びまとめ】マンニトール標準処方について

進行 竹内洋文（岐阜薬科大）

17:15-17:20　閉会のあいさつ

砂田久一（名城大）

17:30-19:30　交流会

※ プログラムは予告なく変更になる可能性がございます

以　上